

みんなの文芸



俳句 うらほろ俳句会

まだ喜寿と意地張る胸の班雪はたれゆき
 二月の空淡々と昼の月あわあわ
 積雪の量かさにため息するばかり
 いますこし健やかでいい寒昂
 十勝ばれ成層圏に雪山河
 応援歌五輪の冬陽に流れゆき
 丹頂が居た日は軽く四千歩

井下まさの
 大山みどり
 黒田ちえこ
 柴田 岱華
 菅谷 日月
 福原 仁子
 山村 幹雄

川柳 浦幌川柳会

多すぎた冬の名残りの置き土産
 三月の出足にぶらす春嵐
 米粒ほどの俵あつめ春近し
 お隣の菜那ちゃん美帆ちゃん金銀銅
 糸紡ぎほのぼの語る四季と生き

加藤 未貴
 橋本 葉子
 大山 研
 山村 幹雄
 阿部 麗紅

川柳 上浦幌句の会

冬眠る草木芽ぐむ春の候
 音もなく降り積む雪よ春告げる
 まつりでの開拓太鼓の凜々しさよ
 まつりでの熱々おそばのありがたき
 チョコレート横目で流す血糖値
 文化祭卒寿の合作ガンバッタネ
 早いもの孫も中学がんばろう
 だんだんと春の足音聞こえるよ

笹島カヨ子
 河村みよ子
 芳川 乙美
 加藤 明敏

短歌 心友愛会

トウキビの冷凍ものでも喜んで
 食べる笑顔で心がはずむ
 春よこい幸せ沢山運んでこい
 庭の草花雪どけ待っている
 ひよ鳥の餌にと買しりんごをば
 自分のおやつにして食べており
 大阪で孫の婚礼遠くより
 幸を祈る吾は祖母の笑み
 何時までも時間を掛けて整理する
 過去の想いで懐かしみつづ
 休みがち友が運びしお弁当
 食べて元気で針仕事でき
 今日もまた友に誘われ食事会
 何を食べてもお腹にはいる
 沈みゆく紅い夕日胸濡れて
 彼方へ旅す弟偲び
 背を丸め歩み続ける風雪の中
 行く先みえぬ命求めて

小川 房子
 前川 静江
 山岸 明美
 浅野 京子
 中田 麗子
 堀井あやの
 小澤 つや
 佐藤 成子
 星 愛子

編集後記

■3月15日は町内中学校の卒業式。浦幌には高校がありませんので、多くの卒業生が町外に進学し、それぞれの目標を見つけ果立っていきます。浦幌に戻って働く人は少ないのが現状。

■2月のピョンチャンオリンピックで銅メダルを獲得したカーリング女子チームの吉田知那美選手は北見市常呂町に凱旋した際にこうあいさつしました。「この町は何もなくて、ここにも夢はかなわないと思っていました。けど今はここにいなかつたら叶わなかつたと思っています」。

■一度故郷を離れた吉田選手の実感こもった言葉。浦幌にいても叶えられる大きな夢がきつとあるはず。子どもたちの夢を育て、手助け出来たらと思います。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。